

マクロ経済学B
復習と練習問題
来週の小テスト準備

2018年12月4日

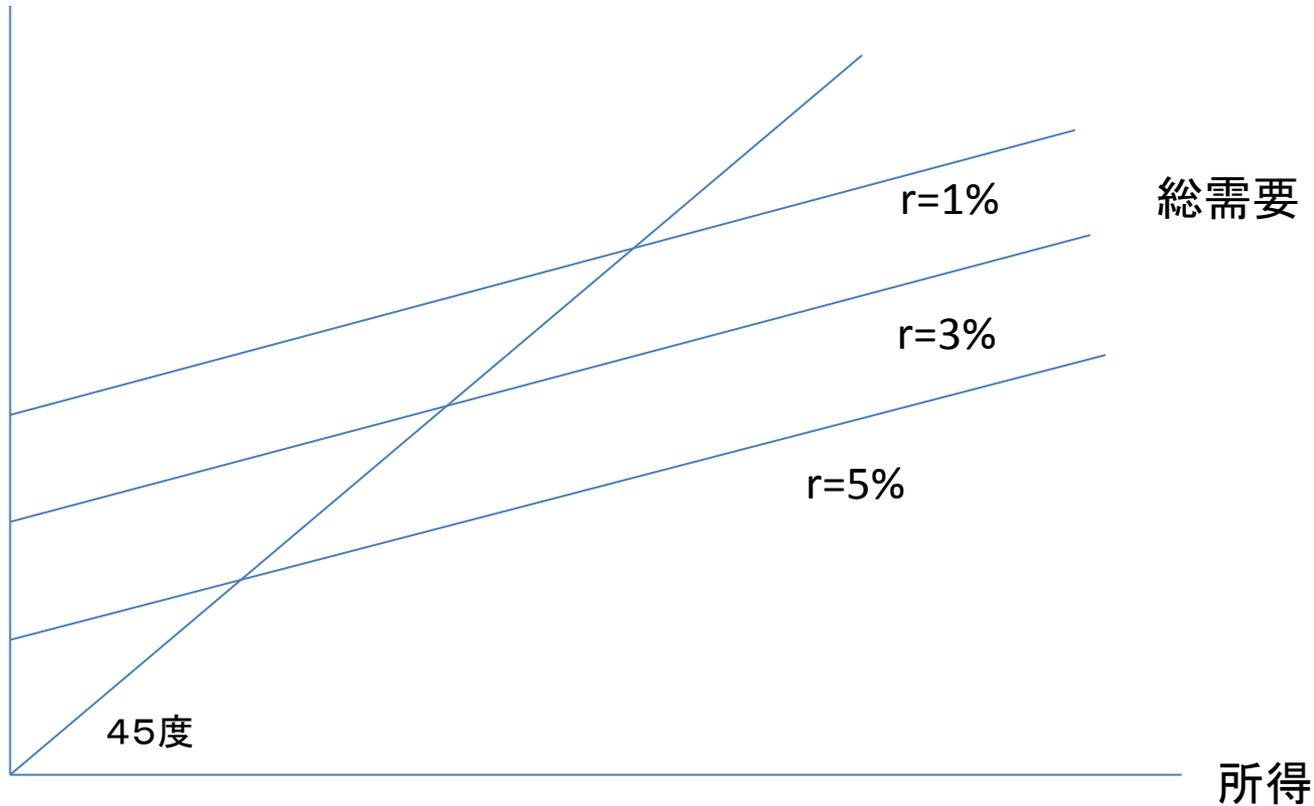
第6～10回

IS曲線の定義

- $Y = C(Y) + I(r) + G + NX$
- これは、財市場の均衡である。
- 左辺は最終財の生産、右辺は総需要（最終財をどれだけ買ってくれるか）
- 復習問題1: IS曲線は、何の市場の均衡か。
- 復習問題2: IS曲線の上では、生産は何と等しくなっているか。

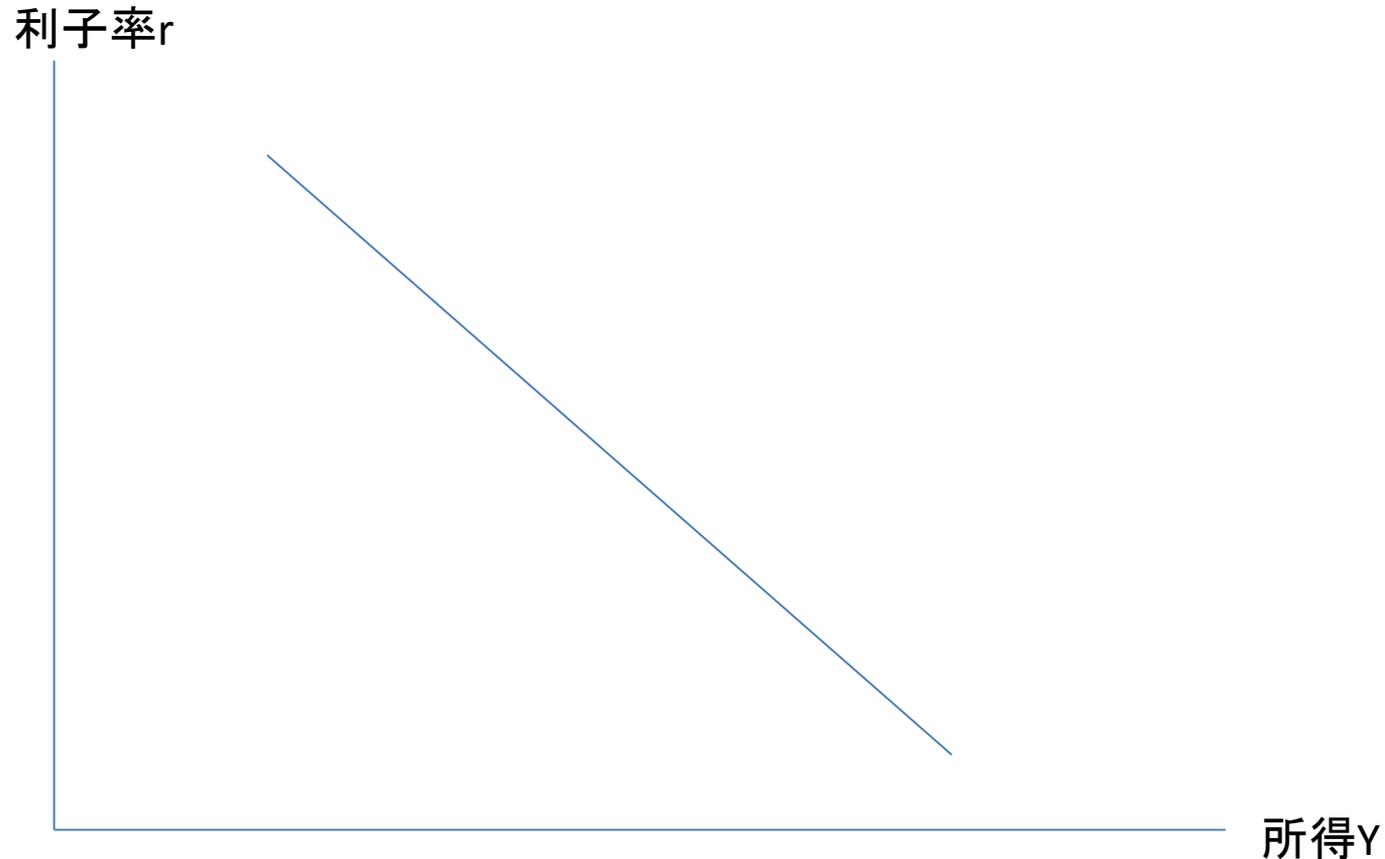
IS曲線を求める(45度線モデル)

総生産、総需要



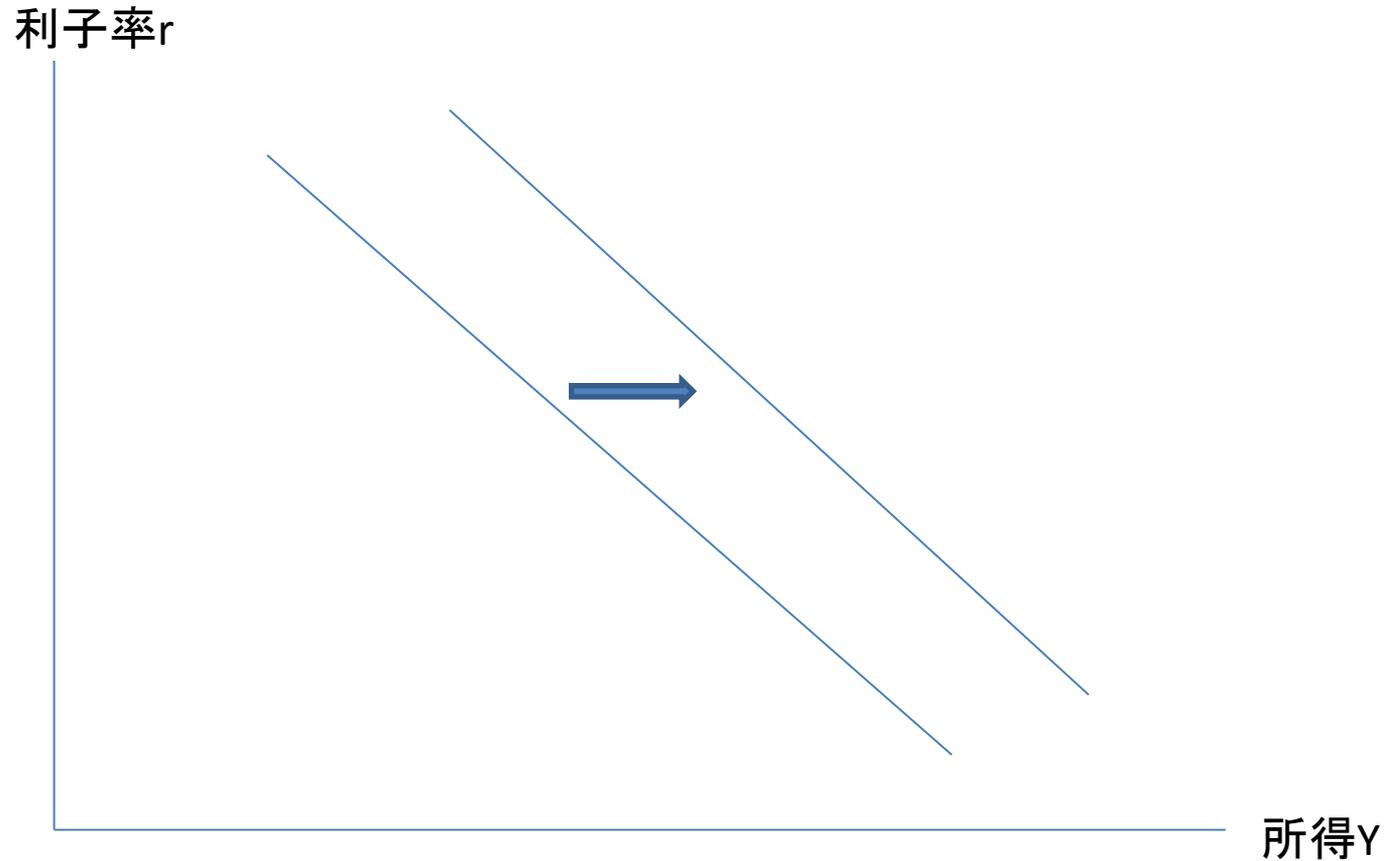
利子率 r が下がると、投資 I が上がる。これによって総需要の線が上にシフトする。均衡する Y も上がる。

IS曲線の形状



利子率 r が下がると、投資 I が上がる。これによって45度線モデルの総需要の線が上にシフトする。このため、均衡する Y も上がる。

IS曲線のシフト



財政政策で、政府支出 G を増加させると、IS曲線は右にシフトする(同一の利率でも、均衡する Y が大きくなる)

IS曲線：復習問題

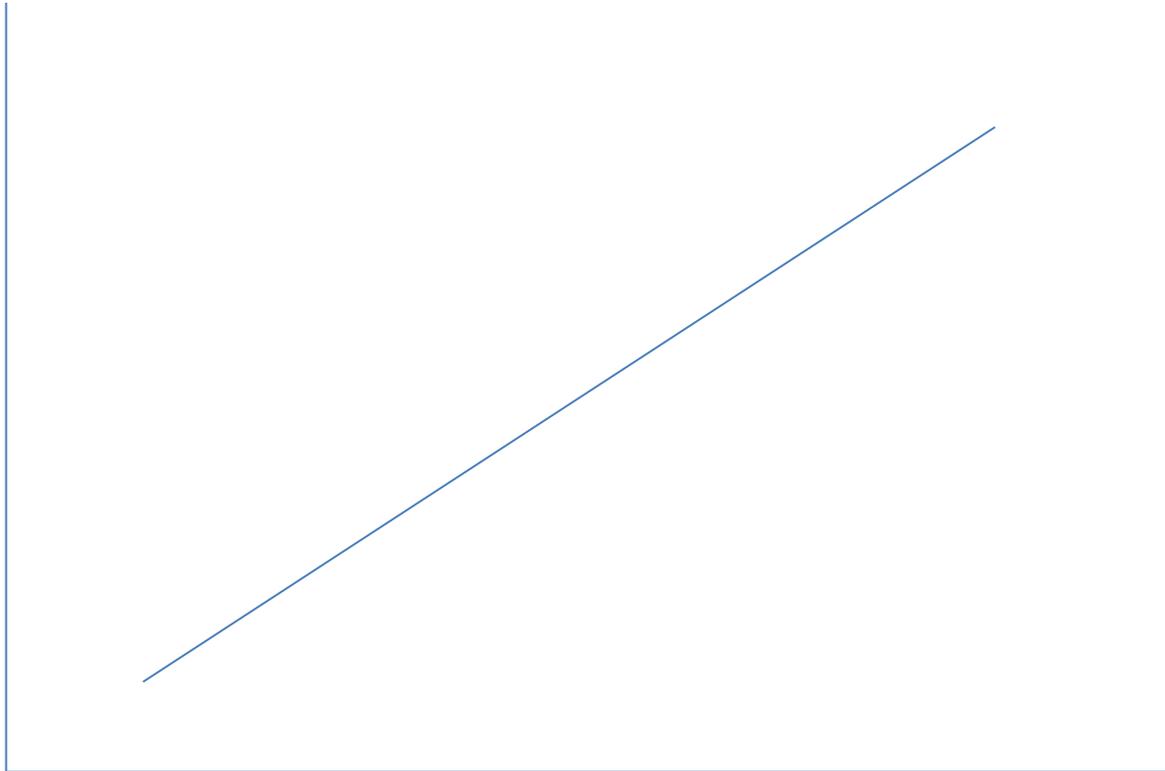
- IS曲線の縦軸、横軸は、それぞれ利子率、所得（GDP）である。
- IS曲線は右下がりとなる。
- IS曲線は、政府支出が大きくなると、右にシフトする。

LM曲線の定義

- LM曲線上では、貨幣需要＝貨幣供給となる。
- 貨幣供給は、利子率に影響を受けない定数である。
- 貨幣需要は、利子率の減少関数、所得の増加関数である。（復習問題：なぜか？）

LM曲線の形状

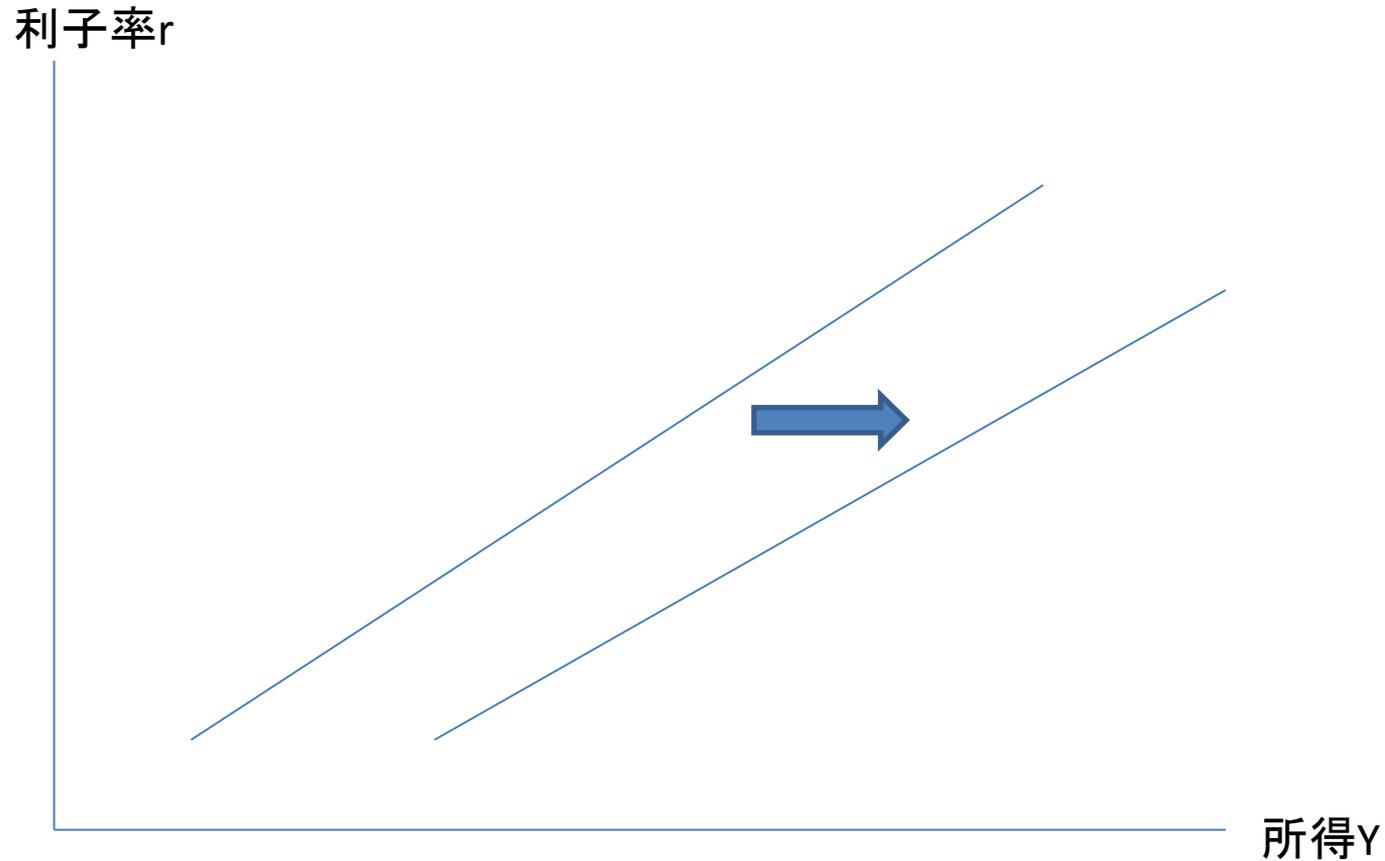
利子率 r



所得 Y

利子率 r が低いと、貨幣需要は高い。貨幣需要が貨幣残高が釣り合うには、所得が低くなり、取引需要が小さくなっている必要がある。

LM曲線のシフト



貨幣供給が増えると、LM曲線は右にシフトする。

LM曲線：復習問題

- LM曲線の定義を述べよ。
- LM曲線の縦軸と横軸は何か。
- LM曲線は、右上がりか、右下がりか。
- 貨幣供給が増えると、LM曲線はどちら側にシフトするか。